

清田消防署からの

防火のススメ



平成15年中、区内で発生した火災は24件。10区の中で一番少ない数字です。しかし、平成14年中の発生件数14件からは大きく増加しており、増加の割合は1位の数字です。防火には普段からの心構えが何より大切。そこで今回は、清田消防署から、防火に対する心構えやポイントを解説いたします。



火災を未然に防ぐには

日常生活に便利さや快適さをもたらす「火」ですが、ちょっとしたことから火災を引き起こしてしまうものです。清田区の火災原因の上位は次の3つ。正しい火の取り扱いと用心が重要です。

火遊び



子どもは好奇心が強いもの。子どもたちに火の恐ろしさや取り扱い方を教え、正しい知識を与えるようにしましょう！

防火のポイント

- ①子どもの手の届くところにマッチやライターを置かないようにしましょう。
- ②子どもだけを残しての外出はやめましょう。
- ③子どもだけで花火などはさせないようにしましょう。

たばこ

たばこの火の先端は高温のため、衣類などに簡単に火が付きます。喫煙マナーを守り、喫煙後は必ず消火の確認を！



防火のポイント

- ①寝たばこは絶対にやめましょう。
- ②灰皿には水を入れ、必ず灰皿のある所で吸いましょう。
- ③完全に消えていない吸い殻をくずかごに捨てるのはやめましょう。

放火



出火原因の上位を占める放火を防ぐには、普段から放火を防ぐ環境づくりが大切です。町内会などによる見回りも効果的！

防火のポイント

- ①家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ②ごみは決められた日に出しましょう。
- ③外出時や就寝時には戸締まりを必ず確認し、物置や車庫などには鍵を掛けましょう。

もしも火災になったら

万が一、火災が発生してしまっても、慌てず冷静に対処することで、被害を最小限に食い止めましょう。

通報



慌てず「火事」か「救急」かははっきり言い、正確な住所を伝えることが大切です。落ち着いて通報できるよう、電話のそばにあなたの住所や目印となる建物などを書いたメモを張っておきましょう。

避難

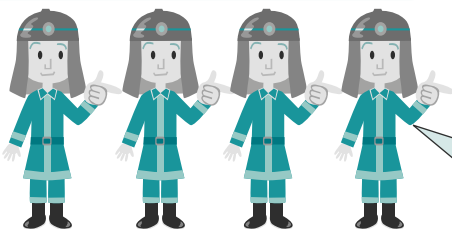
避難方法は日ごろから2つ以上決めておきましょう。マンションなどでベランダに仕切り板がある場合は、壊して逃げましょう。また、避難の障害になるような場所に物品を置かないようにしましょう。冬期間は避難出口の除雪をしておきましょう。



消火



- * 消火器での消火 *
2～3メートル離れたところから噴射しましょう。近いところから直接油面に噴射すると油が飛び散り、やけどや火災の拡大につながります。
- * 消火をあきらめるタイミング *
目安は炎が天井に達したときですが、その前でも煙がひどい場合は一刻も早く避難を！



町内で取り組む防災関係の行事に、消防署員が出向いてお手伝いします。詳しくは清田消防署 883-2100にご相談ください！

広 告 欄